

土曜講座 数学問題演習 第三回

2006年6月3日

1

正六角形 ABCDEF において、 $\overrightarrow{AB} = \vec{a}$, $\overrightarrow{AF} = \vec{b}$ とおく。このとき、次の各ベクトルを \vec{a}, \vec{b} で表せ。

- (1) \overrightarrow{CD} (2) \overrightarrow{BC} (3) \overrightarrow{AC} (4) \overrightarrow{AD} (5) \overrightarrow{BD}

2

平行四辺形 OABC において、BC を 2:1 に内分する点を D, OA を 4:1 に外分する点を E、DE と AB の交点を F とするとき、次のベクトルを、 $\overrightarrow{OA}, \overrightarrow{OC}$ で表せ。

- (1) \overrightarrow{OD} (2) \overrightarrow{OE} (3) \overrightarrow{OF}

3

$\triangle OAB$ の辺 OA, OB 上に点 C, D を、 $OC:CA=1:2, OD:DB=2:1$ となるようにとり、AD と BC の交点を E とするとき、次の問いに答えよ。

- (1) $AE:ED=s:1-s$ において、 \overrightarrow{OE} を $s, \overrightarrow{OA}, \overrightarrow{OB}$ で表せ。
(2) $BE:EC=t:1-t$ において、 \overrightarrow{OE} を $s, \overrightarrow{OA}, \overrightarrow{OB}$ で表せ。
(3) \overrightarrow{OE} を $\overrightarrow{OA}, \overrightarrow{OB}$ で表せ。

4

(1) ベクトル \vec{a}, \vec{b} が $|\vec{a} + \vec{b}| = 6, |\vec{a} - \vec{b}| = 2, |\vec{b}| = 3$ をみたすとき、内積 (\vec{a}, \vec{b}) を求めよ。また、 $|\vec{a} + t\vec{b}|$ を最小にする t の値を求めよ。

(2) 定点 O を中心とする半径 2 の円周上に定点 A, B がある。すべての実数 t について $|(1-t)\vec{OA} + 2t\vec{OB}| \geq 2$ が成り立つとき、内積 (\vec{OA}, \vec{OB}) の値を求めよ。

5

平面上で、点 P を通りベクトル \vec{n} に垂直な直線を l とする。ただし、 \vec{n} は零ベクトルでないとする。このとき、 l 上にない点 A から l に下ろした垂線の足を H とし、 3 点 P, A, H の位置ベクトルをそれぞれ $\vec{p}, \vec{a}, \vec{h}$ とする。

(1) 内積について、 $\vec{n} \cdot \vec{h} = \vec{n} \cdot \vec{p}$ が成り立つことを証明せよ。

(2) 実数 t を用いて、 $\vec{AH} = t\vec{n}$ とおける。このとき、 t を $\vec{p}, \vec{a}, \vec{n}$ で表せ。

(3) 線分 AH の長さを $\vec{p}, \vec{a}, \vec{n}$ で表せ。

6

$\triangle OAB$ と正の定数 k が与えられている。動点 P, Q は a, b を実数として、

$$\vec{OP} = a\vec{OA}, \vec{OQ} = b\vec{OB}, \frac{1}{a} + \frac{1}{b} = \frac{1}{k}$$

をみたしている。直線 PQ は定点を通ることを示せ。その定点を R とするとき、 \vec{OR} を \vec{OA}, \vec{OB}, k で表せ。